

# 風流々

22号

編集・発行:

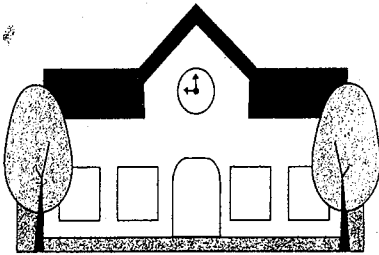
乙訓福祉施設事務組合 乙訓若竹苑  
〒617-0813 京都府長岡京市井ノ内 17-8

TEL:075-954-6501 FAX:075-954-6588

Web <http://www.otsufuku.com/wakatakeen.htm>

新年度ご挨拶

乙訓若竹苑  
施設長 石野 功一



利用者、ご家族、関係各位の皆様、平素は若竹苑の各事業の運営にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて私こと この度 乙訓若竹苑の施設長に就任いたしました。

乙訓若竹苑での勤務は平成27年4月からは22年目に入ります。その前は乙訓ポニーの学校に勤務しておりましたが、その頃に通園されていた子どもたちも、すでに30歳代になられる方もいて、「月日の流れは本当にはやい」と実感しております。

乙訓若竹苑は昭和58年の開所以来すでに32年を経過しましたが当時と今を比較すると障がい者福祉に対する考え方や制度がずいぶんと変わって参りました。措置から契約の時代となり、乙訓若竹苑も平成19年に旧体系から新事業体系に移行し、就労移行支援、就労継続支援（B型）、地域活動支援センター、日中一時支援の各事業を開始しました。平成20年には生活介護事業を加え5事業体制となり、さらに平成26年4月からは新たに相談支援事業も開始し主に当苑利用者の計画相談を始めております。

就労移行支援事業につきましては平成23年4月以降利用者がなく、二市一町と協議した上でこの4月より休止することとなりました。また日中一時支援事業の1日利用定員は利用の実情に合わせ3名から4名に変更いたしました。

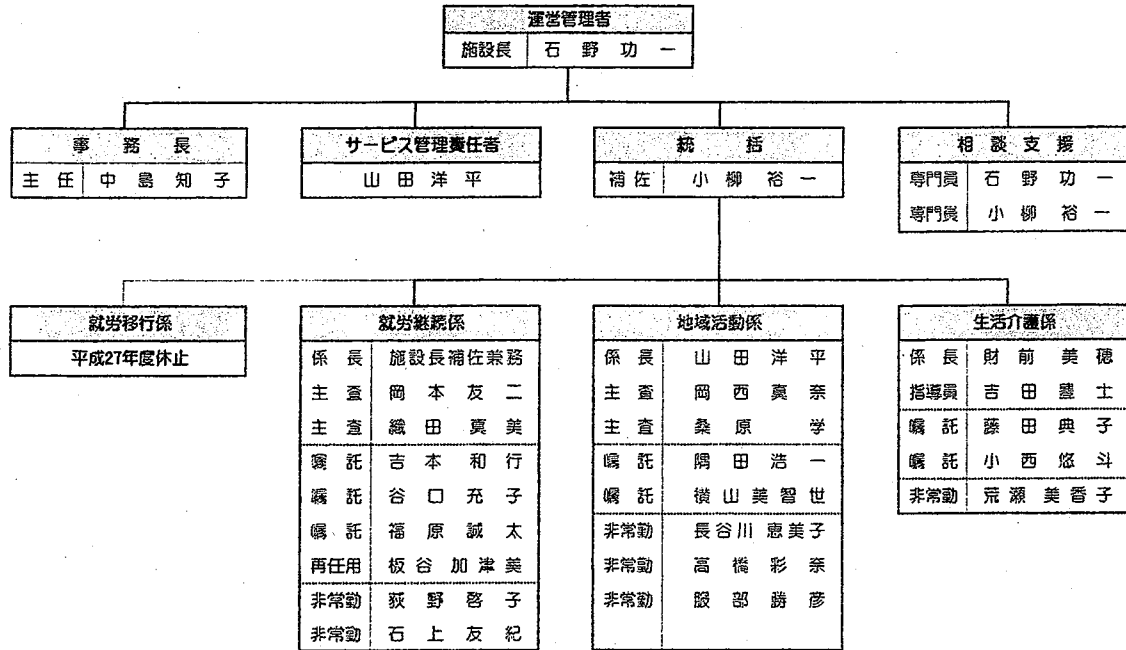
今回の人事異動では、常勤職員は1名が定年退職、1名が他課へ異動、1名が新規採用となり、合わせて10名体制となっています。また嘱託、再任用、非常勤職員は合わせて14名となり、合計24名の体制でスタートいたします。（27年度支援体制表参照）

今年度は3年に1回の報酬改定の年にあたり厚労省の説明では全体ではプラスマイナスゼロとのことでしたが、若竹苑に限って言えば主にサービスの基本報酬単価の減額が大きくなっています。平成25年度には支援費の中の特別対策費（いわゆる9割補償）の制度がなくなり、安定した収入が見込まれなくなっていたところに続く今回の報酬改定により収入の面からは厳しい状況が予想されています。

このような状況ではございますが利用者の支援をまず第一に考え、支援の充実に努めて参りたいと考えておりますので、今後とも関係各位の皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

4月30日より乙訓福祉施設事務組合の管理者が新たに安田 守（向日市長）に代わりましたのでお知らせいたします。

## 平成27年度 支援体制表 乙訓若竹苑 2015. 4



## 新しい職員が仲間入りました！

今年度4月から、生活介護係で働くことになりました吉田豊士です。豊士と書いて「ゆうじ」と読みます。平成元年生まれの25歳（5月現在）です。今年の3月までは大山崎町の教育委員会で嘱託職員として働いていました。

「福祉と教育」という、似て非なる世界なので若竹苑での毎日は刺激的なことばかりです。利用者の皆さんにも少しずつ顔と名前を覚えてもらい僕の方が楽しく過ごさせてもらっているくらいです。

まだまだ、勉強させられる事が多く、たくさんの人に支えてもらいながらですが、ほんの少しでも利用者さんに気持ち良く過ごしていただけるように努力しますので、どうぞよろしくお願いします。

## 就労継続支援(B型)事業

今年度4月から就労継続係<就労継続支援(B型)事業>の係長となりました小柳です。

以前にも支援をさせて戴いていましたが、他の事業担当を経て久しぶりに担当として戻ってきました。以前支援させて戴いていた時とは状況も変わり、現状について行くことに四苦八苦しています。ですが、当時も今「働く意味を考える」という根底の部分に変化は無いと思います。これらを踏まえつつ、次を目指し進んでいきたいと思っています。

どうぞ、よろしく申し上げます。

## 生活介護事業

今年度4月から生活介護事業の係長になりました財前です。

生活介護事業が開所された年に採用され、気づけば生活介護事業で7年目を迎えています。

毎日のルーティン活動はもちろんですが、レクリエーションや行事等、普段とは違う刺激となる活動にも力を入れていきたいと思っています。利用者6名という少ない人数ですが、少人数を活かせる活動も模索していきたいと思っています。

## 地域活動支援事業

4月から地域活動支援センター並び日中一時支援事業の担当となりました山田です。以前は就労継続支援(B型)事業を担当していました。就労継続支援事業とは活動内容が違いますが、これまで培った経験も活かしながら、より良い支援に繋げて行きたいと思っています。よろしくお願い致します。

## 若竹苑からのお願い

### 就労継続支援事業より

下請け作業や墓所清掃の苑外作業などご用命ありましたら、ぜひご連絡ください。

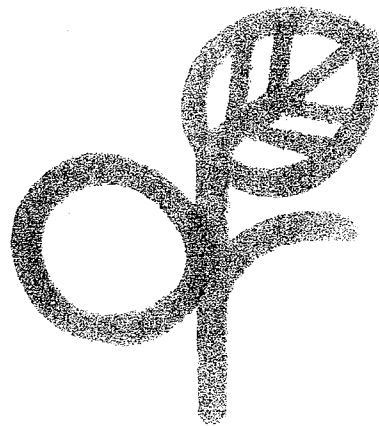
### 地域活動事業より

社会参加の一環として缶つぶしなどの作業時間を設けています。つきましては、簡単な工程でできる内職がありましたら、お声かけ、ご紹介下さい。

### 生活介護事業より

アルミ缶と牛乳パック（中身をよく水洗いし乾燥させたもの。牛乳パックは開かずそのままの状態）の回収を随時行っております。ご協力いただける方はご連絡下さい。皆さんのご協力をよろしく申し上げます。

<乙訓福祉施設事務組合ロゴマークが決まりました。>



アルファベットの「O」と「F」を形どり、「O」は乙訓、「F」は福祉施設事務組合を表しています。

「O」は陽だまりのようなあたたかさ、また「F」は、のびのびと大きく空に向かって成長していくことをイメージし、その2つが寄り添い、支え合っています。これは、「当組合が、利用者の方・ご家族・地域の方と寄り添い、支え合いながら、ホッとできるような温もりのある場所にしていきたい、またそのような場所になるように成長しつづけたい」という願いを込めています。